



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 古河電気工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 5801 URL <https://www.furukawa.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 森平 英也
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR部長 (氏名) 滝田 博子 (TEL) 03(6281)8540
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	882,015	15.3	31,400	—	36,124	—	16,360	—
2024年3月期第3四半期	765,299	△2.6	△555	—	△2,957	—	△6,525	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 42,995百万円(484.1%) 2024年3月期第3四半期 7,361百万円(△62.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	232.17	—
2024年3月期第3四半期	△92.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,011,809	359,602	32.4
2024年3月期	985,007	358,245	33.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 328,254百万円 2024年3月期 328,328百万円

(注) 2025年3月期第1四半期より、「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等を適用しており、2024年3月期の関連する数値については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、2025年2月12日に公表いたしました「2025年3月期 通期業績予想及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,190,000	12.6	42,000	276.0	46,000	348.0	30,000	360.9	425.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、2025年2月12日に公表いたしました「2025年3月期 通期業績予想及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社 (社名) (株) 岡野エレクトロニクス、 MFオプテックス (株)
除外 1社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	70,666,917株	2024年3月期	70,666,917株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	193,560株	2024年3月期	208,091株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	70,468,113株	2024年3月期3Q	70,437,604株
------------	-------------	------------	-------------

※ 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)にかかる信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の当第3四半期連結累計期間の業績は、全般的な需要回復基調のもと、売上高は8,820億円（前年同期比15.3%増）、営業利益は314億円（前年同期比320億円改善）と、前年に比べ増収増益となりました。経常利益は、持分法による投資利益の増加等により361億円（前年同期比391億円改善）、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、164億円（前年同期比229億円改善）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

[インフラ]

情報通信ソリューション事業では、データセンタ関連製品等の売上増やテレコム関連の需要回復等により増益となりました。エネルギーインフラ事業では、国内超高圧・再エネ関連・機能線の売上増等により増益となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は2,227億円（前年同期比12.0%増）、営業損失は1億円（前年同期比131億円改善）となりました。

[電装エレクトロニクス]

自動車部品事業は、安定した受注による生産性の改善や電池の価格適正化等により増益となりました。電装エレクトロニクス材料事業は、製品ミックス等の改善や為替影響等により増益となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は5,403億円（前年同期比13.8%増）、営業利益は221億円（前年同期比118億円増）となりました。

[機能製品]

データセンタ関連製品の売上増等により、当セグメントの売上高は1,121億円（前年同期比31.1%増）、営業利益は121億円（前年同期比82億円増）となりました。

[サービス・開発等]

水力発電、新製品の研究開発、不動産の賃貸、各種業務受託等による当社グループ各事業のサポート等を行っております。当セグメントの売上高は255億円（前年同期比9.9%増）、営業損失は26億円（前年同期比10億円悪化）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

第1四半期連結会計期間より、会計方針の変更を行っており、前連結会計年度末との比較分析に当たっては、遡及適用後の数値を用いております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末に比べ268億円増加して1兆118億円となりました。現金及び預金が46億円、受取手形、売掛金及び契約資産が159億円、棚卸資産が176億円増加し、有形固定資産が22億円、投資有価証券が87億円減少しました。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ254億円増加して6,522億円となりました。借入金、社債、コマーシャル・ペーパーの残高が3,440億円と前連結会計年度末比で110億円、支払手形及び買掛金が74億円、製品補償引当金が50億円増加しました。

純資産の部は、その他有価証券評価差額金の増加、利益剰余金及び為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ14億円増加して3,596億円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.9ポイント低下し32.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の連結業績予想につきましては、自動車部品事業における事業環境リスクの想定の見直しに加え、エネルギーインフラ事業における国内地中線工事案件や機能線、送配電部品等の売上増加により売上高及び営業利益が前回の公表予想を上回る見込みです。さらに、持分法投資利益の増加や為替差損益の改善により経常利益が、政策保有株式の売却等により親会社株主に帰属する当期純利益が前回の公表予想を上回る見込みとなりました。

また、2025年3月期の期末配当金につきましては、当期の業績見込み等を踏まえ、従来予想の1株当たり90円から30円増配し、1株当たり120円の予想に修正することといたしました。

詳細につきましては、2025年2月12日に公表いたしました「2025年3月期 通期業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,895	53,503
受取手形、売掛金及び契約資産	245,712	261,653
有価証券	4,747	5,973
商品及び製品	73,088	75,592
仕掛品	43,899	54,605
原材料及び貯蔵品	66,659	71,077
その他	35,974	36,197
貸倒引当金	△1,210	△1,205
流動資産合計	517,767	557,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	263,129	268,918
機械装置及び運搬具	517,262	527,246
工具、器具及び備品	80,522	80,996
土地	33,971	34,601
その他	47,006	53,638
減価償却累計額	△663,250	△688,942
有形固定資産合計	278,640	276,457
無形固定資産		
のれん	50	247
その他	20,234	19,913
無形固定資産合計	20,284	20,161
投資その他の資産		
投資有価証券	131,694	123,022
繰延税金資産	8,563	9,512
退職給付に係る資産	11,241	11,970
その他	17,755	14,233
貸倒引当金	△939	△946
投資その他の資産合計	168,315	157,793
固定資産合計	467,240	454,411
資産合計	985,007	1,011,809

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	128,780	136,219
短期借入金	137,371	137,360
コマーシャル・ペーパー	35,500	42,000
未払法人税等	4,451	3,191
製品補償引当金	5,264	6,085
その他	89,526	86,018
流動負債合計	400,894	410,874
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	120,168	124,685
製品補償引当金	163	4,314
環境対策引当金	9,224	9,192
退職給付に係る負債	29,239	29,522
資産除去債務	1,717	1,657
その他	25,354	31,958
固定負債合計	225,867	241,332
負債合計	626,761	652,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,395	69,395
資本剰余金	23,178	23,143
利益剰余金	193,062	180,475
自己株式	△691	△651
株主資本合計	284,945	272,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,218	32,753
繰延ヘッジ損益	1,195	△268
為替換算調整勘定	25,286	19,776
退職給付に係る調整累計額	4,682	3,631
その他の包括利益累計額合計	43,383	55,892
非支配株主持分	29,916	31,347
純資産合計	358,245	359,602
負債純資産合計	985,007	1,011,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	765,299	882,015
売上原価	655,921	736,169
売上総利益	109,377	145,846
販売費及び一般管理費		
販売費	35,617	33,645
一般管理費	74,315	80,800
販売費及び一般管理費合計	109,933	114,445
営業利益又は営業損失(△)	△555	31,400
営業外収益		
受取利息	1,404	901
受取配当金	1,084	2,616
持分法による投資利益	3,576	8,230
その他	1,653	1,429
営業外収益合計	7,718	13,178
営業外費用		
支払利息	6,871	6,803
為替差損	1,028	396
その他	2,220	1,254
営業外費用合計	10,120	8,454
経常利益又は経常損失(△)	△2,957	36,124
特別利益		
固定資産処分益	93	121
投資有価証券売却益	4,152	1,135
その他	2,284	522
特別利益合計	6,530	1,779
特別損失		
固定資産処分損	1,140	482
投資有価証券売却損	714	1,924
製品補償引当金繰入額	—	*1 5,857
その他	1,927	1,233
特別損失合計	3,783	9,498
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△210	28,405
法人税、住民税及び事業税	4,624	9,177
法人税等調整額	651	389
法人税等合計	5,276	9,566
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,486	18,838
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,038	2,478
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,525	16,360

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,486	18,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△314	21,069
繰延ヘッジ損益	△58	△1,508
為替換算調整勘定	8,464	1,593
退職給付に係る調整額	△106	△249
持分法適用会社に対する持分相当額	4,862	3,252
その他の包括利益合計	12,848	24,157
四半期包括利益	7,361	42,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,483	39,644
非支配株主に係る四半期包括利益	1,877	3,350

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結貸借対照表は、固定負債のその他が206百万円減少しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、前期首残高の利益剰余金が206百万円増加しております。なお、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	インフラ	電装エレクトロニクス	機能製品	サービス・開発等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	196,075	467,248	82,134	19,840	765,299	—	765,299
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,850	7,452	3,356	3,352	17,011	△17,011	—
計	198,925	474,701	85,490	23,193	782,311	△17,011	765,299
セグメント利益又は損失 (△)	△13,180	10,230	3,893	△1,585	△641	85	△555

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額85百万円には、主に未実現利益の消去等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	インフラ	電装エレクトロニクス	機能製品	サービス・開発等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	219,262	533,446	107,669	21,636	882,015	—	882,015
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,440	6,883	4,391	3,860	18,575	△18,575	—
計	222,702	540,329	112,061	25,496	900,591	△18,575	882,015
セグメント利益又は損失 (△)	△82	22,072	12,103	△2,633	31,460	△59	31,400

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△59百万円には、主に未実現利益の消去等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

* 1. 製品補償引当金繰入額

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

- ① 当社連結子会社の古河電池(株)が過去に出荷した製品の一部ロットで発生した不具合に対応する費用1,687百万円を引当計上したものであります。なお、製品補償引当金繰入額のうち将来の発生見込み額は製品補償引当金として計上しております。
- ② 当社が当社子会社を通じて過去に納品した電力大型プロジェクトで不具合が発生し、顧客と協議を続けてまいりました。今般、当社子会社と顧客の間で、当該プロジェクトのケーブルを交換するとともに、その費用の一部を負担することに合意したことに伴い、今後必要と見込まれる費用4,170百万円を引当計上したものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	28,900百万円	30,425百万円
のれんの償却額	156百万円	23百万円